

川崎区の役立つ**福祉情報**をお届け～

# ウェーブ

平成 30 年 5 月 1 日

第102号

## 目次

- 1 平成 30 年度賛助会員募集について
- 2 第 4 期川崎区地域福祉活動計画
- 3 平成 30 年度事業計画
- 4・5 各地区社協の事業内容
- 6 共同募金運動にあたたかいご協力ありがとうございました  
平成 29 年度年末たすけあい運動「支援金」配分の結果について  
ポッチャボールセットの貸し出し始めました
- 7 地区社協のトピックス  
小田地区社協 地域福祉懇談会を開催しました  
チャレボラ 2018
- 8 こども食堂を知ろう  
ほほえみコーナー  
譲ります・譲ってください

川崎区社会福祉協議会福祉バルかわさき

**発行** 社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 福祉バルかわさき  
川崎市川崎区日進町 1-11 川崎ルフロン 8 階  
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741 Email info@kawasakikushakyo.or.jp  
川崎区社協ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>



【発行人】大橋 新太郎  
【編集人】編集委員会  
【発行部数】84,000部

イメージキャラクター  
ウェーブくん



# 賛助会員募集

平成30年度

について

社会福祉協議会では毎年賛助会員を募集しています。

賛助会員とは、社会福祉協議会の事業にご賛同していただき、資金面で社協の事業を支援してくださる会員のことをいいます。

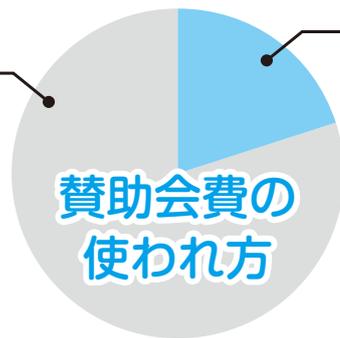
会費としていただきました賛助会費は賛助会員一人ひとりに直接還元されるものではありませんが、皆さんの近隣にお住まいのお年寄りや、ハンディキャップのある方々への支援、明日の福祉を担う子どもたちへの福祉教育、ボランティア活動の支援など福祉活動を支えるための財源として幅広く役立てられています。

ご協力頂いた賛助会費は、8 割が川崎区内 10 の地区社協の事業に活用され、2 割が川崎区社協の事業に活用されます。

地区社協については、4 面、5 面に一覧を掲載していますので、是非ご覧ください。

区社協では、災害ボランティアセンターの啓発、車いすの貸し出し、福祉まつり・社会福祉大会、広報紙発行などの事業に活用されています。

**8 割は**  
地区社協事業に活用  
(詳しくは 4,5 面を参照)



**2 割は**  
区社協事業に活用



車いす貸し出し



災害ボランティアセンターの啓発

賛助会費は「福祉のまちづくり」をすすめる貴重な財源となっています。

「何か地域の役に立ちたいけれど仕事が忙しくて…」という方も賛助会員になることで地域福祉に貢献することができます。

社会福祉協議会の事業は地域の皆様に支えられて成り立っています。ぜひ賛助会員にご加入くださいますようお願い申し上げます。

すでに賛助会員の方は、5 月以降に地域の方が協力依頼に伺う予定です。  
新規に入会希望の方、その他賛助会員に関する問い合わせは本会までご連絡ください。

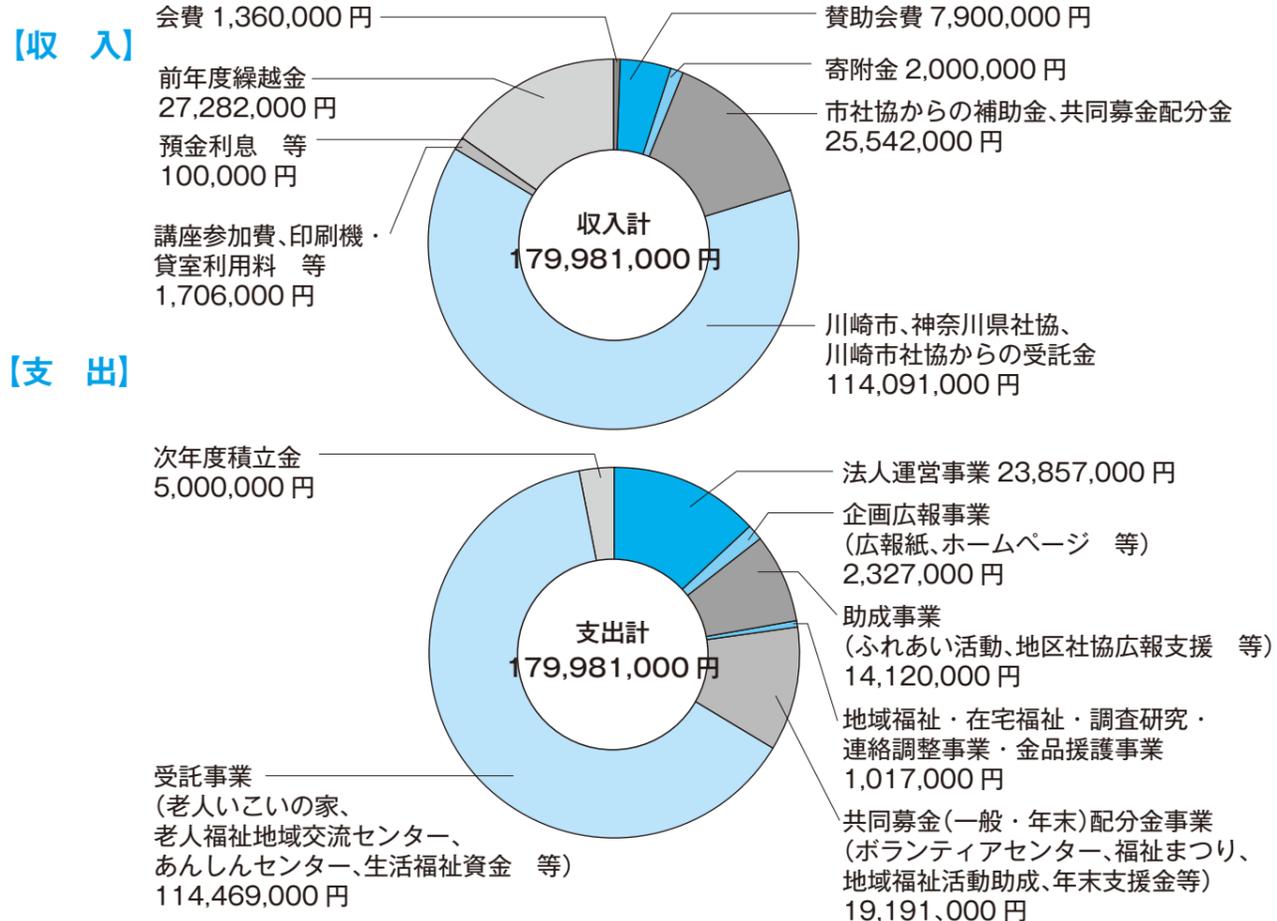
**【社会福祉法人川崎市川崎区社会福祉協議会】**  
川崎区日進町 1 - 11 川崎ルフロン 8 階 電話：044 - 246 - 5500



### 平成 30 年度 事業計画 重点項目

- 1 地区社協活動の支援・援助**  
地区社会福祉協議会が展開する見守り活動・居場所づくり活動の支援を通じて、身近な福祉活動の推進を図っていきます。
- 2 福祉教育の普及と協力**  
学校だけでなく、企業や地域での福祉教育を実施し、ともに生きる地域づくりに取り組みます。
- 3 総合相談支援事業（福祉なんでも相談）**  
総合相談支援事業を「福祉なんでも相談」と位置づけ、本会の会員とともに、あらゆる生活課題・福祉課題に向き合い、区民一人一人に寄り添った支援に取り組みます。
- 4 広報啓発事業**  
本会発行の広報紙「ウェブ」、情報紙「いっぽ」、ホームページのほかにもさまざまな媒体を通してより多くの人に福祉情報を提供します。
- 5 災害支援の取組み**  
総合防災訓練で災害ボランティアセンター設置訓練を実施し、区民の災害支援に対する理解を深めます。
- 6 地域生活支援 SOS 川崎事業への協力**  
本会第 1 種種別会議のなかで、福祉分野を超えた支援体制を確立するネットワークづくりを行い、川崎市社会福祉協議会が提案する地域生活支援 SOS かわさき事業に協力し、複雑かつ複合的な福祉・生活課題に取り組みます。

### 平成 30 年度 予算



### 第 4 期川崎区地域福祉活動計画

## つながり育て 安心して暮らせるまち かわさき区 ~か輪さきをめざして~



地域福祉活動計画は、さまざまな地域課題を解決するために社会福祉協議会が呼びかけて、住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

本会では、平成 16 年から 5 か年ごとに地域福祉活動計画を策定し、地域福祉の推進に向けてさまざまな活動に取り組んできましたが、川崎区との連携を一層強化して地域福祉を推進していくため、行政計画である川崎区地域福祉計画と計画期間を合わせ、第 4 期地域福祉活動計画は当初の予定から 1 年前倒しして平成 30 年度からスタートし、平成 32 年度までの 3 か年計画としました。

今後は、川崎区と緊密な連携を図りながら、双方の計画を機能させることで、地域福祉の更なる推進に努め、「つながり育て 安心して暮らせるまち かわさき区 ~か輪さきをめざして~」の実現を目指してまいります。

御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

#### 基本目標 1

#### つながり育てる地域づくり

一人ひとりが地域福祉に関心を持ち、地域活動を活性化していけるよう啓発していくとともに、地域の中でつながることのできる場、顔の見える関係を築いていく取組を推進します。

#### 基本方針 1

つながり育てる身近な福祉活動を広げます

#### 重点事業

地区社協活動の支援・援助

#### 基本方針 2

共に生きる地域を目指し、互いの理解を深めます

#### 重点事業

福祉教育の普及と協力

#### 基本目標 2

#### 安心して暮らせる地域づくり

保健・福祉・医療サービスを必要としている人が、的確にサービスを受けられるよう情報を発信するとともに、相談・支援の充実を図ります。

#### 基本方針 3

あらゆる生活課題・福祉課題に向き合い、区民一人ひとりに寄り添った支援を行います

#### 重点事業

総合相談支援事業 (福祉なんでも相談)

#### 基本方針 4

より多くの区民に福祉情報を提供します

#### 重点事業

広報啓発事業

#### 基本目標 3

#### 見守り・支え合いのネットワークづくり

地域における多種多様なニーズに対応できるよう、高齢者、障害者、子どもなどさまざまな関係機関と連携し、総合的なネットワーク体制づくりを推進します。

#### 基本方針 5

支援が必要な人々の声を聞き逃さない仕組みを目指します

#### 重点事業

災害支援の取組み

#### 基本方針 6

関係機関・団体・施設との連携を強化します

#### 重点事業

地域生活支援 SOS かわさき事業への協力

# 各地区社協の事業内容

区内の10の地区社協が行っている事業を紹介します。  
これらの事業には、皆様からいただいた  
賛助会費が使われています。



**中央第一地区社協** 15,893 世帯

**事業内容**

- 地域福祉懇談会
- 日帰り研修
- 社会を明るくする運動
- 芙蓉会(会食会)
- 健康講話
- 元気に歩こう会
- 敬老祝いの会 など



**大師第四地区社協** 8,251 世帯

**事業内容**

- 福祉教育への協力・支援 (東門前小学校、大師小学校)
- 地域福祉懇談会
- 健康体操講座の開催
- ふれあい会食会の実施
- 広報誌『しあわせ』発行
- 地域のボランティアグループ、母親クラブへの支援 など



**大師第三地区社協** 9,603 世帯

**事業内容**

- 地域福祉懇談会
- 福祉教育への協力
- 社会を明るくする運動
- 敬老行事
- 役員研修会の実施
- ふれあい会食会の実施 など



**中央第二地区社協** 19,298 世帯

**事業内容**

- 地域福祉懇談会
- バス視察研修
- 社会を明るくする運動
- 広報紙「きずな」発行 (年2回)
- 認知症予防カフェ「くろみクラブ」
- 地域福祉講演会の開催 など




**大師第二地区社協** 9,600 世帯

**事業内容**

- 地域福祉懇談会
- 社会を明るくする運動
- 地域福祉講演会の開催
- カローリング大会
- 車椅子体験・ふれあい給食会 (四谷小学校)
- ふれあい会食会
- 広報誌「きずな」発行 など



**渡田地区社協** 10,128 世帯

**事業内容**

- 社会を明るくする運動
- 広報紙発行 (年2回)
- 障がい者施設にてボランティア活動
- はつらつ演芸大会
- 連合若竹会の行事開催
- ふれあい会食会の実施
- 「ほのぼの会」「子育てサロンわたりだ」へ協力
- 少年野球大会、羽根つき大会等の開催 など



**大師第一地区社協** 10,933 世帯

**事業内容**

- 地域福祉懇談会
- 日帰り視察研修会
- 社会を明るくする運動
- 敬老行事
- 地域福祉講演会の開催
- 各種講座の開催 (車イス体験、障害者疑似体験)
- 中学生との座談会
- 広報紙、地域だより 発行 など



**小田地区社協** 15,686 世帯

**事業内容**

- 地域福祉懇談会
- 役員研修会の実施
- 社会を明るくする運動
- 敬老行事
- 地域福祉講演会の開催
- 男性の料理教室の開催
- 広報紙 発行 (年1回) など



**大島地区社協** 11,164 世帯

**事業内容**

- 小地域見守り福祉協力員の委嘱及び研修
- 地域福祉講演会の開催
- 広報誌「社協おおしま」発行
- 高齢者ふれあい型会食会実施
- 地域福祉施設の見学・福祉問題の勉強会開催
- 社会を明るくする運動強調月間「社明大島ビッグファミリーワン」開催に協力 など



**田島地区社協** 11,986 世帯

**事業内容**

- 地域福祉懇談会
- 社会を明るくする運動
- 福祉の集い
- 地域福祉講演会の開催
- 広報紙 発行
- カローリング大会
- ふれあい会食会 など



# 地区社協のトピックス



## 小田地区社会福祉協議会 地域福祉懇談会を開催しました!

小田地区社会福祉協議会では、10月14日(土)に地域福祉懇談会を開催いたしました。今年度は「誰もが安心して暮らせる地域を目指して～高齢者についてもっと知ろう～」をテーマに地区社協役員をはじめ、民生委員、老人会、高齢者に関わる関係機関のみなさま56名にお集まりいただきました。地域で高齢者を対象に活動するさまざまな団体・関係機関の取組みについてお話を伺うと共に、暮らしの中で高齢者について気になること、課題だと感じることを共有しました。地域の課題が見えてきたと同時に、地域の良いところも話し合わせ、なごやかで有意義な懇談会となりました。

地域で認知症の認識を増やせば、もっと理解が深まり、トラブルも減るのではないかな。



家族で住んでいても昼間一人の場合も心配な場合がある。



1人暮らしの男性が外に出てくるような取組みが必要ではないか。力を発揮できる場所・得意なことが活かせる場所があるというのでは。



元気な高齢者は声を掛け合っているので安心。挨拶をしながらつながりを持つなど、声掛けが大切。



# チャレボラ 2018

参加費 無料

今年の夏休みは ボランティア体験しよう!

こどもや高齢の方、障害のある方とのふれあいや、環境・地域イベントなどたくさん用意されたプログラムから選んでボランティア体験をしてみよう♪ きっと素敵な夏休みの思い出になるはず!

対象：川崎市内在住・在学の学生 (小学生～大学生)

※詳細は、各学校を通して6月頃に配布されるチラシ等をご覧ください



## 共同募金運動にあたたかいご協力ありがとうございました!



今年度も、多くのご協力をいただき、10月1日より共同募金運動を実施いたしました。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、神奈川県および川崎区内の社会福祉施設や地域福祉活動、さまざまな福祉課題に取り組むボランティア活動等のために大切に使用させていただきます。地域の皆様のあたたかいお気持ちに深く感謝申し上げます。



平成30年3月末現在

募金種類	赤い羽根募金実績額	年末たすけあい募金実績額
戸別募金	12,710,057円	9,969,265円
法人募金	1,535,500円	
街頭募金	1,114,780円	81,600円
校内募金	438,619円	
職域募金	856,419円	331,011円
イベント募金	29,985円	0円
その他の募金	152,450円	14,625円
合計	16,837,810円	10,396,501円

赤い羽根共同募金は地域の福祉活動に役立てられています

主にこのような事業に使わせていただいております

- ★区内の福祉施設・団体への配分
- ★地区社会福祉協議会への助成
- ★会食・配食活動など高齢者支援活動への助成 等



会食の様子

会食や配食活動は、65歳以上で、日中お一人の方や高齢者のみの世帯などを対象に、食事を通して見守ることを目的として行っている事業です。

## 平成 29 年度 年末たすけあい運動 「支援金」 配分の結果について

12月に実施されている年末たすけあい募金は、集めた募金を全て川崎区内の地域福祉活動に活用しています。平成29年度の募金の一部を活用し、福祉ニーズを持つ世帯への激励事業として、民生委員児童委員を通じて年末たすけあい運動「支援金」5,000円を505世帯に配布しました。

交付世帯の内訳は次のとおりです。

対象世帯	件数 (世帯)
ひとり親世帯で児童扶養手当の給付を受けている世帯	37
身体障害者手帳1・2級の方がいる世帯	329
療育手帳Aの方がいる世帯	100
精神障害者保健福祉手帳1級の方がいる世帯	10
介護認定が要介護4・5の方がいる世帯	46
災害遺児等福祉手当の給付を受けている世帯	1
公害病認定患者の方がいる世帯	4
重複	22
合計	505

## ポッチャボール セットの貸し出し 始めました!



ポッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。冬季オリンピックでメダルを獲得して話題になったカーリングに似ています。

川崎区社協では、貸し出し用福祉用具として、ポッチャボールセットを1セット購入し、貸し出しを始めました。

障がいの有無に関わらず、多くの方が楽しめるスポーツですので、興味がある団体の方は本会までご連絡ください。





# つながる ひろがる まちの居場所づくり こども食堂を知ろう！



平成 30 年 1 月 26 日（金）に、川崎市スポーツ・文化総合センターカルッツにて「つながる ひろがる まちの居場所づくり こども食堂について知ろう！」を開催しました。

こどもの育ちを地域で支えようと全国に広がっているこども食堂。さまざまな地域でこども食堂の活動を行っている講師のみなさまからお話を伺いました。

八百屋さんの一角で、施設で、自宅を開放して、自治会館を借りてそれぞれの場所で地域にあったこども食堂の活動が行われていました。活動をはじめたきっかけや、活動をしてみて感じること、今後への課題など、それぞれの活動しているみなさんの想いを伺うことが出来、とても充実した講演会となりました。川崎区でもこども食堂の活動が行われておりますが、川崎区社協としてはこども食堂を含めたこどもの居場所について、今後も区民のみなさまと考えていきたいと思っています。



## 参加者の声



『こども達の事、地域の事を考えてくれる大人がたくさんいて良かったです。みんながちょっとずつの優しさをもって、その優しさを寄せ集めたらお年寄りも、こどもも笑顔の時間が増えるのでは… と思いました。』



『「こどもが食事をする所」だけではなく遊んだり勉強したり、こども自身が自分の話を聞いてもらったりできる場所のようで、理想的な場所だと感じました。』



『身近な人々が必要という話がすごく印象的でした。子どもの真の姿を見るには寄り添って向き合えないと見えないのだと分りました。』

## こども食堂について…

こども達を地域で支えようとする取り組みは全国に広がっています。

困難を抱える家庭のこどもたちのための食堂だけでなく、だれでも安心して来て良い「居場所」「だんらん」の場、こどもが笑顔になれる、人がつながる地域の「居場所」です。

## ほほえみ コーナー



### 寄付者名（受付順）

平成29年12月1日～平成30年3月31日

- リバーカーレントの会 様
- 社会福祉法人川崎聖風福祉会・かわさき障害者福祉施設たじま 様
- 株式会社 八洋 川崎営業所 様
- JFE スチール京浜労働組合 様
- 公益社団法人スコーレ家庭教育振興協会 様
- 川崎区地域女性連絡協議会  
会長 青木 恵美子 様
- セレサ川崎農業協同組合 様

## 福祉用具 再利用

## 譲ります・譲ってください

川崎区にお住まいの方々を対象に、車いす、ポータブルトイレ等の福祉用具を、譲りたい方と譲って欲しい方との間で、ご紹介しています。

現在譲りたい方から、**ポータブルトイレ**の登録があります。

お譲りいただける方は、川崎区社会福祉協議会までご連絡ください。

電話：044-246-5500

FAX：044-211-8741

メールアドレス：

info@kawasakikushakyo.or.jp